（第和33年10月15日 昭三種郵便物認可）　昭和33年11月5日　（第50号）

五所川原市広報

臨時号一部2円

農産物品評会

展覧会も併催する

五農高校と市の共同主催

市役所と県立五農高校の共催で例年各地区毎に行なつていた農産物品評会を廃止して五農校一ケ所で今年も農産物の品評会と展覧会を開催することになりました。会期は十一月八日（土）九日（日）十日（月）の三日間で、区域は津軽全域となつております。

出品物の搬入は十一月七日の午前中で種目と数量は

穀物の部

種もみ、玄米、豆類、とうもろこし、粟、そば、きび、その他（各三合）

果実の部

りんご十ケ、柿、梨、ぶどう五ケ、栗ぐるみ五合

そ菜の部

大根二本、ごぼう十本、人参三本、長いも二本、かぶ五ケ、仏掌いも三ケ、里いも二株或いはいも一升、馬鈴薯五ケ、菊いも一升、葱十五本、甘藷二ケ、白菜二ケ、体菜三株、高菜三株、その他菜類三株

母本の部

種株二株、枝豆二株

葉工品の部

むしろ、叺、俵（各種規定品一枚）ぞうり、わらじ、つまご、馬ぐつ（各種規定品一足づつ）縄（機械なわ大五貫玉）一玉、手なえなわ一束、けら一枚、敷むしろ一枚、その他

加工品の部

澱粉三合、蜂蜜二合、葉タバコ一枚、りんご加工品、林産加工品

畜産の部

卵五ケ、畜産加工品、その他

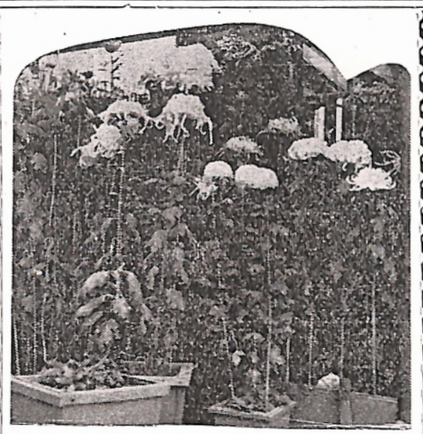
農村食の部

一品料理又は一食の献立

参考品の部

農業上の参考になるものの数の出品を望んでおります。電話連絡で結構でございます。（電話五所川原二、七〇二番）

尚くわしいことについては市役所農林商工課において下さい。



菊のシーズン

彼岸が過ぎると晩秋である。稲のとり入も、どうにか片づき、五所川原市にも季節のあし音がひたひたと押し寄せてきた。

山野は秋の七草に彩どられ、燕は南にかえり、雁は北からやつてくる。山の幸は柿、栗、茸、海の幸は、さんま、いかなど味覚もまた樂しいシーズンである。天高く馬肥えて長雨のあと日和がつづいています『あわれ秋風よ心あらば伝えてよ』という佐藤春夫氏の詩がしのばれる今日この頃であります。文化の日を中心として、菊の香がしみ込む……。庭々にはこゝを先途と咲きこぼれている菊々……。

（鉄道官舎前で）

有畜農業指導所女子短期生募集

このたび青森県営農指導農場有畜農業指導所では、第一九回女子短期講習生を募集しております。

これは農村女子に対し農閑期を利用して有畜農業及び生活改善の教育を施し、農業改良を推進する人材の養成を目的とするものであつて、期間は昭和三十三年十二月八日入所、昭和三十四年三月十五日卒業になつており、今回の募集人員は三拾名、応募資格は県内在住の女子で中学校卒業者又はそれ以上の学歴のもので年令は二十五才以下の者となつております。

講習科目は家畜飼養管理（乳牛、馬、豚、緬羊、鶏）家畜及農業についての学課農畜産加工、生活改善及び家事、其の他となつております。

入所願書は上北郡七戸町大沢四八、青森県営農指導農場、有畜農業指導所にありますので、葉書で申込んで下さい。

出願期限は昭和三十三年十一月二十日となつております。

尚同所の概要は有畜農業指導所として昭和十一年種畜場内に併設され昭和二十三年以来独立して農村の第一線に活躍する人物養成につとめ現在まで卒業生九〇〇名を出しております。

士地面積四〇ヘクタール、耕地面積六七ヘクタール、成乳牛一七頭、鶏二五〇羽耕馬六頭、緬羊、豚等を飼育し畜力農具一式、トラクター、牛乳処理同生活を行い、クラブ活動も活発に行つております。くわしくは青森県七戸町大沢四八（電話七戸三番）青森県営農指導農場有畜農業指導所又は市役所農林商工課までお問合せ下さい。

上北開墾地で補充入植者募集

上北機械開墾地区のうち上北郡六ケ所村所在の第四二又工区及び第二二又工区に五戸の補充入植地があるので入植者を募集しております。

同地区はすで開墾も完了し住宅兼畜舎も完成し一部作付も完了しており飲料水各自深さ平均五乃至六米位の井戸もあります。

電気は三十四年度に導入する予定になつております

尚募集要項は左記の通りになつておりますので、希望者は市役所農林商工課まで申込下さい。

記

一、年令は満二十才以上四十五才未満の者

二、原則として夫婦を基本とした家族構成で稼働力は労働換算単位一、八以上であり、かつ家族全員が健康であるもの（保健所医師による健康診断書必要）

費によつて支弁されます。

生徒の生活は規律厳正な協

生徒は全部寄宿舎に収容し主食以外の全部の費用は県費によつて支弁されます。

三、農業の経験年数が三年以上で入植の際主計費等として三十万円以上（現金を含む）を調達携行できる者（内入植の際現金五万円以上を組合に予託すること）

四、今回募集分は補充分であるから、すでに準備された住宅、作付等を引継ぐことになり、計画外にこの分の負担金若干を必要とする。

五、申込の際には戸籍謄本一通、予貯金証明書一通を添付すること。

六、入植希望者は市役所農林商工課においで願います。

移民募集

希望者は市役所へ

青森県海外協会ではブラジル国アクレ直轄洲キナリー地区移住者を募集しております。ご希望の方は市役所農林商工課へ申出下さい

第一次の募集期日は本年の十二月二十五日

第二次の募集期日は明年の二月二十三日

となつております。

移住してからの仕事は主として蔬菜の栽培。

世帯持がよい。

中泉集会場

十月二十四日落成

九月下旬から市内笹森建設の施工で建築中の五所川原市大字中泉の集会場はこの程、完成しこれが落成式は十月二十四日朝から外崎市長始め、来賓多数出席のもとに行なわれたが合併以来頃には相当減少して制度そのものも崩壊の危機に瀕したのであつた。

そこで政府は昭和二十三年に制度の根本的な改正を行い、従来の組合方式を改め、市町村が公営で実施するようにしたのである。

その結果相当数の組合の事業が市町村に引継がれ市町村が行う一般公衆衛生行政と相まつて、住民の健康保持に大きく資することになつたわけであります。

しかし乍ら市町村に切り換えられても、その財政事情は樂観を許さない状況にあつたため制度の強化育成を目標として数次にわたる財政措置が講ぜられ、昭和二十七年には再建整備のため国の資金の貸付を行う制度を設け、従来の診療報酬の未払整理を行うことにしたわけです。

尚二十八年には療養給付費に対し、補助金を交付することゝし、いわゆる助成金の制度が設けられたわけであります。

この結果保険財政も逐次安定して参り、給付内容も徐々に改善されることにあつたわけです。さらに昭和三十年には療養給付費に対して二割相当額の国庫補助療養給付費補助が国で義務的であるから、この制度の運営と立派な成果をおさめるには市と、被保険者である皆さん並びに医師薬剤師等関係者の理解ある相互の協力にまたなければなりません。

我が市の国保も今併後市民及び関係者の御協力で目的達成に努めて参りましたが、今後も国保事業育成のため皆様の協力をお願いします。

保険課より

国民健康保険のあゆみ

国民健康保険は昭和十三年農山漁村における医療保障を目的として創設されましたもので、当初は市町村の区域を単位とする任意設立の組合により、いわゆる組合方式の医療保障制度として発足したのであります

それ以来一応順調に発展をしたものの、終戦時の昭和二十年頃には相当減少して制度そのものも崩壊の危機に瀕したのであつた。

そこで政府は昭和二十三年に制度の根本的な改正を行い、従来の組合方式を改め、市町村が公営で実施するようにしたのである。

その結果相当数の組合の事業が市町村に引継がれ市町村が行う一般公衆衛生行政と相まつて、住民の健康保持に大きく資することになつたわけであります。

しかし乍ら市町村に切り換えられても、その財政事情は樂観を許さない状況にあつたため制度の強化育成を目標として数次にわたる財政措置が講ぜられ、昭和二十七年には再建整備のため国の資金の貸付を行う制度を設け、従来の診療報酬の未払整理を行うことにしたわけです。

尚二十八年には療養給付費に対し、補助金を交付することゝし、いわゆる助成金の制度が設けられたわけであります。

この結果保険財政も逐次安定して参り、給付内容も徐々に改善されることにあつたわけです。さらに昭和三十年には療養給付費に対して二割相当額の国庫補助療養給付費補助が国で義務的であるから、この制度の運営と立派な成果をおさめるには市と、被保険者である皆さん並びに医師薬剤師等関係者の理解ある相互の協力にまたなければなりません。

我が市の国保も今併後市民及び関係者の御協力で目的達成に努めて参りましたが、今後も国保事業育成のため皆様の協力をお願いします。

保険課より

私の職場から

公民館長　永井末吉

長い教員生活を辞めて、この七月から五所川原公民館の長として、その仕事をすることになりました。何かと不案内の為勝ですから、何卒関係各位の御指導とご鞭撻の程お願い申上げます。公民館の設置は法的に規定されその組織やその性格はまた社会教育法と、公民館法に広いしかもむずかしい場に生命と活動の足場をもつている公民館ですから、どうしても地域社会の皆様方の、ご理解とご協力をお願い申上げる次第であります。

さて、七、八月の行事を回顧してみると、公民館利用の行事だけでも殆んど毎日、日曜なしの昼夜共、研修の場として使われていましても、法を活かし、それを善用し、その成果を挙げられた特定の人間の努力だけでは到底なし得ないことはもちろんであります。

公民館運動を強力に推進し、所期の目的を達成しようとする場合も、またおなじことで限られた職員だけでは自ら活動の限界があるわけですし、殊にご承知のように社会教育という分野の広いしかもむずかしい場に生命と活動の足場をもつている公民館ですから、どうしても地域社会の皆様方の、ご理解とご協力をお願い申上げる次第であります。

さて、七、八月の行事を回顧してみると、公民館利用の行事だけでも殆んど毎日、日曜なしの昼夜共、研修の場として使われていました。これでいゝのです。

公民館は市民の皆様のものであり、皆様の教養の場であり、憩安の場であるからであります。

限られた建物と設備なので、今のところご不便ご不満もおありでしようが、われらの愛する公民館、われらの親しめる公民館としてご利用下さい。

新は就任以来日尚浅いのに払わらず、この期間中にも、教えられたことが数々多いのであります。

公民館の皆様の教養の場であり方が無軌道で、無秩序なさいか、そのあらわれは良識を欠いたみにくい姿で多く見せつけられます。

公民館には、たくさんの人達が多く集まるのですが、その中で良識ある行動を欠いている方があるとすれば、それは精神訓練の不充分と、教養の貧困を意味することになると思います。

およそ人間の共同社会において、人の道即ち道義は時代が変つたからといつて畳間と、その基盤をなす道徳的な良識は根本的に、何もかも変わるものではないと信じます。

とかく自由と平等の民主的な解釈を誤り、その現れが良識を失い勝なことが多いのであります。

お互に些細なことにも意識して、一挙手一投足にも心を配り、いかにも公人として、また教養ある人の行為として立派であることを願うものであります。

次にご承知とは存じますが大方の参考までに、館内における事務室や、ホールなどご案内申上げ場に毎週毎晩、特別のない限り公民館を使用して、研究に励んでいるグループをご紹介します。

階下　事務室と当直室と二階付きの外に図書室、三階は五所川原市教育委員会事務局と郡町村会事務局や、地改良区事務所のほか畳敷二間と六畳敷の二間があり、

川原堰改良区事務所と、五所川原地区農業改良所と、五所川原地区病虫害防除所と、

務局となつています。

研究グループの決つてゐる日取は、月、金曜日はラーステ研究例会、火、木曜日は演劇研究例会、水曜日はお茶修例会、金曜日は謡曲研修例会、土曜日はバレエ研修例会、

棟続きになつている平屋の建物の中は　剣道、柔道の道場となつている。

道の入口の事務所と、五所川原地区農業改良所と、

「暮しにつながるこの一票」

県議会議員補欠選挙について

告示　十一月十二日

投票日　十一月二十七日

十一月二十七日は県議会議員の補欠選挙が行なわれます。今回もまた補充選挙人名簿を調製いたしますから左記に該当する方は必らず市選挙管理委員会に申出下さい。

五所川原市選挙管理委員会

電話二一一

記

① 昭和三十三年十一月十一日で満二十才となる方

② 昭和三十三年八月十一日以前から五所川原市に居住している方

③ 選挙人名簿に登載されるべき資格のある方であつて脱落している方

昭和三十三年九月十五日現在調製の基本選挙人名簿、昭和三十三年五月二日及び昭和三十三年十月二十二日現在調製の各補充選挙人名簿等より

右は何れも申請がなければ名簿に登載することが出来ませんから該当者は御遠慮なく印鑑御持参の上十一月十六日（申請〆切日）までに当委員会にお出下さい。

イ、名簿調製現在期日　十一月十一日

ロ、申請期間　十一月十二日から十六日迄五日間

ハ、調製期限　十一月十八日まで

ニ、縦覧期間　十一月十九日から十一月廿一日迄

ホ、異議決定期間　十一月二十三日

ヘ、名簿確定日　十一月二十四日

昭和三十三年度基本選挙人名簿の縦覧について

期間　十一月五日から十一月十九日まで

昭和三十三年九月十五日現在で調整した基本選挙人名簿は十一月五日から十五日間五市選管事務局及び各支所に於いて縦覧に供しますから自分達の名前が選挙人名簿に登載されているかを確かめるためにどうぞお出下さつて縦覧になつて下さい。

この名簿は来年執行される県議会議員選挙等各種選挙に使用されます。何時の場合でもそうですが選挙に突き当つてから名簿から落ちているどうしたんだなどと申込まれたりしますが調製する係員も細心の注意を払つて脱落者のないように特別の努力はしてありますが、何せ毎日の異動といつてよいくらい出入がはげしいのでございますので、何れにしても有権者各位の自主性にまつて縦覧以外にないのでありますからして十一月五日から十一月十九日までの間に本人、又は他の人に依頼するなりして名簿に登載されているか、脱落してないかを確かめるようにして下さい。

又先般各町内会の連絡員にお願いして調査いたしましたが、その後住所を変えた方は申出て下さい

五所川原市選挙管理委員会

電話二一一五番

里親及び職親を求む

両親のない子ども、或はあつても病気だとか何かでできない不幸な家の子どもを引き取つて育てゝくれる里親と、自家に引き取つて職業を教えてくれる職親を求めています。

里親、職親に対する月手当は二五〇円ですが養育費は飲食物費日額乳児七一円七十銭、幼児は六二円八七

健康自慢

羽野木沢小学校

五所川原市の誇り

朝日新聞社が主催で文部省と厚生省の後援の全国健康優良校の中央審査で、本市の七和地区羽野木沢小学校が全国十校のうちに選ばれた、五所川原市の大きな誇りです。

羽野木沢小学校は特に健

所得税

十一月十一日

十一月は農業所得者の予定納税期月になつて居りますが、「税有資格者（所得税を納めている人）のうち、水害や台風のため農作物等の被害がひどく去年より所得が非常に少くなると思われる人に対し十一月の納める予税を申請により来年三月の確定申告のときまで猶予することになつております。

左記要項により十月十日までに申請書を市役所税務課へ提出して下さい。

記

一、徴収猶予をうける人

二、農作物や家財に対する被害が甚しく昨年より所

農産物品評会

展覧会も併催する

五農高校と市の共同主催

市役所と県立五農高校の共催で例年各地区毎に行なつていた農産物品評会を廃止して五農校一ケ所で今年も農産物の品評会と展覧会を開催することになりました。期日は十一月八日（土）九日（日）十日（月）の三日間で、区域は津軽全域とつております。

出品物の搬入は十一月七日の午前中で種目と数量は

穀物の部
種もみ、玄米、豆類、とうもろこし、粟、そば、きび、その他（各三合）

果実の部
りんご十ケ、柿、梨、ぶどう五ケ、栗ぐるみ五合

そ菜の部
大根二本、ごぼう十本、人参三本、長いも二本、かぶ五ケ、仏掌いも三ケ、里いも二株或いはいも一升、馬鈴薯五ケ、菊いも一升、葱十五本、甘藷二ケ、白菜二ケ、体菜三株、高菜三株、その他菜類三株

母本の部
種株二株、枝豆二株

薬工品の部
むしろ、叺、俵（各種規定品一枚）ぞうり、わらじ、つまご、馬ぐつ（各種規定品一足づつ）縄（機械なわ大五貫玉）一玉、手なえなわ一束、けら一枚、敷むしろ一枚、その他

加工品の部
澱粉三合、蜂蜜二合、葉タバコ一枚、りんご加工品、林産加工品

畜産の部
卵五ケ、畜産加工品、その他

農村食の部
一品料理又は一食の献立

参考品の部
農業上の参考になるものとなつておりますので、多数の出品を望んでおります。

電話連絡で結構でございます。（電話五所川原二、七〇二番）

尚くわしいことについては市役所農林商工課において下さい。

菊のシーズン

彼岸が過ぎると晩秋である。稲のとりスも、どうにか片づき、五所川原市にも季節のあし音がひたひたと押し寄せてきた。

山野は秋の七草に彩どられ、燕は南にかえり、雁は北からやつてくる。山の幸は柿、栗、茸、海の幸は、さんま、いかなど味覚もまた楽しいシーズンである。天高く馬肥えて長雨のあと日和がつづいています『あわれ秋風よ心あらば伝えてよ』という佐藤春夫氏の詩がしのばれる今日この頃であります。文化の日を中心として、菊の香がしみ込む……。庭々にはこゝを先途と咲きこぼれている菊々……。

（鉄道工官舎前で）

有畜農業指導所女子短期生募集

このたび青森県営農指導農場有畜農業指導所では、第一九回女子短期講習生を募集しております。

これは農村女子に対し農閑期を利用して有畜農業及び生活改善の教育を施し、農業改良を推進する人材の養成を目的とするものであつて、期間は昭和三十三年二月八日入所、昭和三十三年三月十五日卒業になつて、今回の募集人員は、応募資格は県内在住の女子で中学校卒業者又は、それ以上の学歴のものでなつております。

講習科目は家畜飼養管理（乳牛、馬、豚、緬羊、鶏）家畜及農業についての学課、農畜産加工、生活改善及び家事、其の他となつております。

入所願書は上北郡七戸町大沢四八、青森県営農指導農場、有畜農業指導所にありますので、葉書で申込んで下さい。

出願期限は昭和三十三年十一月二十日となつております。

尚同所の概要は有畜農業指導所として昭和十一年種畜場内に併設され昭和二十三年以来独立して農村の第一線に活躍する人物養成につとめ現在まで卒業生九〇〇名を出しております。

土地面積四〇ヘクタール、耕地面積六七ヘクタール、成乳牛一七頭、鶏二五〇羽、耕馬六頭、緬羊、豚等を飼育し畜力農具一式、トラック、トラクターハ牛乳処理ホームスパン加工等の設備をもち本科生（男子一年）と年数回の短期講習を行つております。

生徒は全部寄宿舎に収容し主食以外の全部の費用は県費によつて支弁されます。

生徒の生活は規律厳正な協同生活を行い、クラブ活動も活発に行つております。

くわしくは青森県七戸町大沢四八（電話七戸三番）青森県営農指導農場有畜農業指導所又は市役所農林商工課までお問合せ下さい。

上北開墾地で補充入植者募集

上北機械開墾地区のうち上北郡六ケ所村所在の第四二又工区及び第二二又工区に五戸の補充入植地があるので入植者を募集しております。

同地区はすでに開墾も完了し住宅兼畜舎も完成し一部作付も完了しており飲料水各自深さ平均五乃至六米位の井戸もあります。

電気は三十四年度に導入する予定になつております

尚募集要項は左記の通りになつておりますので、希望者は市役所農林商工課まで申込下さい。

記

一、年令は満二十才以上四十五才未満の者

二、原則として夫婦を基本とした家族構成で稼働力は労働換算単位一、八以上であり、かつ家族全員が健康であるもの（保健所医師による健康診断書必要）

三、農業の経験年数が三年以上上で入植の際主計費等として三十万円以上（現金を含む）を調達携行できる者（内入植の際現金五万円以上を組合に予託すること）

四、今回募集分は補充分であるから、すでに準備された住宅、作付等を引継ぐことになり、計画外にこの分の負担金若干を必要とする。

五、申込の際には戸籍謄本一通、予貯金証明書一通を添付すること。

六、入植希望者は市役所農林商工課においで願います。

移民募集

希望者は市役所へ

青森県海外協会ではブラジル国アクレ直轄洲キナリー地区移住者を募集しております。ご希望の方は市役所農林商工課へ申出下さい

第一次の募集期日は本年の十二月二十五日

第二次の募集期日は明年の二月二十三日

となつております。

移住してからの仕事は主として蔬菜の栽培。世帯持がよい。

中泉集会場

十月二十四日落成

九月下旬から市内笹森建設の施工で建築中の五所川原市大字中泉の集会場はこの程、完成しこれが落成式は十月二十四日朝から外崎市長始め、来賓多数出席のもとに行なわれたが合併以来の念願かなつて落成をみたおらが集会場の晴れ姿をみんものと部落の老若男女がほどんと集まり盛会の裡に午后閉会した。

（写真その集会場）

尚同集会場は冬期間は梅田小学校の分校として使用されるので小さい児童にとつては冬場の難がしのべるわけである。

私の立場から

公民館長　永井末吉

長い教員生活を辞めて、こられた特定の人間の努力だの七月から五所川原公民館けでは到底なし得ないことは長として、その仕事をすることになりました。何かと不案内勝ですから、何卒関係各位の御指導とご鞭撻の程お願い申上げます。公民館の設置は法的に規定されその組織やその性格はまたの社会教育法と、公民館法にうたわれているわけであります。

運営面につきましても勿論その基本的なものは、法的に示されているし、またその上市条例もあるわけであります。

何時の時代に於いてもまたどんなりつぱな法であります。

しても、法を活かし、それを善用し、その成果を挙げうとする場合も、またおなじことで限られた職員だけでは自ら活動の限界があるわけですし、殊にご承知のように社会教育という分野の広いしかもむずかしい場に生命と活動の足場をもつている公民館ですから、どうしても地域社会の皆様方の、ご理解とご協力をお願い申上げる次第であります。

さて、七、八月の行事を回顧してみるに、公民館利用の行事だけでも殆んど毎日、日曜なしの昼夜共、研修の場として使われています。これでいゝのです。

公民館は市民の皆様のものであり、皆様の教養の場であり、慰安の場であるからであります。

限られた建物と設備なので、今のところ不便ご不満もおありでしようが、われらの愛する公民館、われらの親しめる公民館としてご利用下さい。

新は就任以来日尚浅いのに、教えられたことが数々多いのであります。

特にその中で殊の外、心を痛めさせた一つをとりあげて皆様方に、訴えご批判をいただきたいと思います。

現代の世想は、あまり利己的で、個人本位の考方が無軌道で、無鉄砲なせいか、そのあらわれは見識を欠いたみにくい姿でなく見せつけられます。

公民館には、たくさんの人達が多く集まるのですが、その中で良識ある行動を欠いている方があるとすれば、それは精神訓練の不充分と、教養の貧困を意味することになると思います。

およそ人間の共同社会にあいて、人の道即ち道義は時代が変つたからといつても、その基盤をなす道徳的な良識は根本的に、何もかも変わるものではないと信じます。

とかく自由と平等の民主的な解釈を誤り、その現れにも良識を失い勝なことが多いのであります。

お互に些細なことにも意を痛めあつて、一挙手一投足にも心を配り、いかにも公人として、また教養ある人の行為として立派であることを願うものであります。

次にご承知とは存じますが、公民館内における事務室や、教養日と二日に毎週、毎晩、特別の事情のない限り公民館を使用して希望、研修所の研究グループに紹介します。

階下は事務室と当直室、外に図書室と二階付きの大ホールで、二階は五所川原郡町村長会事務局と、北郡教育委員会事務局や、五所川原堰土地改良区事務局が五所川原農業改良普及所と、北郡農業共済病虫害防除事務局となつています。

研究グループの決つている日取は、金曜日はコーラス研究例会、火、木曜日は演劇研究例会、水曜日はお茶研究例会、金曜日は謡曲研修会、土曜日はスクエアダンス研修例会、考古学研究会、映写機研究会、尚公民館運営審議会の開催日は、ご協力願うことになつておりますので、ご利用下さいます。

公民館運動を強力に推進し、所期の目的を達成しようとする場合も、またおなじことで限られた職員だけでは自ら活動の限界があるわけですし、殊にご承知のように社会教育という分野の広いしかもむずかしい場に生命と活動の足場をもつている公民館ですから、どうしても地域社会の皆様方の、ご理解とご協力をお願い申上げる次第であります。

さて、七、八月の行事を回顧してみるに、公民館利用の行事だけでも殆んど毎日、日曜なしの昼夜共、研修の場として使われています